
angelprincess

瑠璃色

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

angel princess

【Nコード】

N7029Z

【作者名】

瑠璃色

【あらすじ】

もうすぐ、一端覧祭。

高校一年生になった御坂美琴のクラスが学園都市に嵐を巻き起こす！？

オリキャラがダメな方はバックをおすすめします。

作者の語彙はひっじょーに貧しいのでお気をつけください。

クラス（前書き）

はじめまして！

かなり文が苦手なので分かりづらと思いますますがよろしく願います。

美琴視点です。

クラス

「御坂ー！」

ただいま、私、御坂美琴は高校一年生で楽しく？スクールライフを送っています。

一緒に学校に通っているインデックス、統括理事会理事長にいらされた当麻に一方通行。魔術師と戦う時の仲間の元春にエリツアリ、アイテムの面々にlevel5の面々。

楽しくない筈が・・・ない・・・んだ。

確かに魔術師と戦うのも大変だけど、でも楽しい筈なんだ。

長点上機学園。

もうすぐ、一端覧祭がある。

最もこのイベントはいわいる文化祭で、学校説明会もあるので入学希望者が対象になる。

ここ、長点上機も見学者獲得に力をいれている。

1 - A

「クラスの出し物を決めます！」

委員長がハイテンションで言うど皆もイエーイ！とテンションをあげる。このクラスはエリートというより、バカやっている感じで楽しい。私もバカやってる一人なんだけどね！

「折角美少女と美少年がそろってるんだから、メイド&執事カフェとかは？」

流人の提案にほとんどが賛成し、決定した。あーまた接客担当だなーと憂鬱に思っている

「美琴、きつと接客担当でしょ？」

と言われてしまった。声をかけてきたのは日ノ坂 沙羅（ひのさか さら）。さっぱりした性格でクールビューティーと言われているモテている。level4の「風力使用^{エアロシユウタイ}」。

「みこちゃんは可愛いもんね」

この子は祭花 未玖（まつりか みく）。明るくて少し子供っぽい。歌が上手く、歌姫と呼ばれている。level4の「動物指揮^{アニマルタクツ}」。

二人も十分可愛いのに……。だって一日に二人のペースで告白されているんだよ？ 私達は1Aの美人三姉妹と呼ばれているし。別に姉妹という訳ではないけど姉妹みたいでこのあだ名は三人とも意外に気に入っている。美人はいらない気がするけど。

「三人とも接客担当だろ？」

そうやってきたのは柊 流人（ひいらぎ りゅうと）。カフェを提案した子だ。彼はイケメンなのだが自覚なしで性格はふざけたことがあるけど、優しかったり、行動力があるいい子だ。level2の「空間掌握^{ルームアウト}」。

「そうだよ。未玖も沙羅も接客だよ？」

「それを言うなら流人と美琴もじゃない？」

四人でふざけて言っていたのだが実際に十分後に私、沙羅、未玖、流人揃って接客担当になってしまった。衣装とか接客の練習とか大変なんだよなー。皆、同じことを思っていたようで苦笑した。

一週間後

「流っち！（流人のこと）笑顔！」

「ミクリン！（未玖のこと）料理を落とさないで！」

接客の先生の委員長の注意がどんどん飛ぶ。かれこれ一時間はこんな感じでさすがに・・・

「ずっと笑顔しているっていわれても・・・」

「少し休ませてよー委員長」

未玖は頬を膨らませて、流人はうんざりしているような顔をして抗議する。委員長はしょうがないなーと言い、十分の休憩をくれた。

委員長は本名、平野 玲（ひらの れい）、性格はセリフだと真面目そうだが結構テンションが高く、お祭りに目がない。人をあだ名で呼ぶ。level4の「発火能力」パイロキネシス。

「みこちゃん接客上手いなー」

「玲だって上手いじゃん。前、クレーム来たときとか凄かったよ？」

玲とは気が合う。玲も常盤台出身でどうしてもただ真面目なクラス

に馴染めなかったらしい。私も堅苦しいのとか、真面目なだけなのはつまらないと思う。今は凄く楽しいけどね。玲も楽しいみたい。

「みこといるかな？」

私を訪ねてきた人はインデックスだった。滅多に私のクラスに来ることなんてないのに。なんのようだろう？と不思議に思っている。クラスが騒がしくなる。これも銀の姫君と呼ばれているインデックスの力なんだろうなーとのんきに思っている。

「みこと！何ボーっとしてるんだよ？」

「あーなんでもない。で要件は？」

滅多にこないインデックスの用なんて思いつかないし、なにか深刻なことでもあったのかな？と思っていたのだが

「みことおーとうまがとうまがね鈍くて気づいてくれないんだよ！」

たいしたことでは無かった。深刻に思うだけ無駄だったなーと呆れてしまった。インデックスをほっとく訳にもいかず話を聞いたのけど、結局勘違いし合っていただけだったので、

「素直に話しなよ？うち使っていいから」

とだけアドバイスし、戻った。まったく二人とも素直じゃないなー。青春おくってますなーと思いながらアイテムの面々に連絡する。

『インデックスと当麻が素直になんないからちよろつとてこ入れない？』

少し待っているとprrrrrprrrrr!携帯が鳴る。おそらくアイテムからの返信だろう。

『おっけいだにゃー。でどつするっ?』

返信しようとしたが

「みこちゃん！早く戻ってきてきて！」

と未玖に呼ばれてしまいでなかったのだが……。

そのあとが地獄だった。

ありとあらゆるメイド服を着せられ、礼儀作法をいらないようなことまで叩き込まれた。流人と未玖は終わってすぐにカラオケに行こうと言ひ出し、帰れたのは七時だった。

完全下校時刻を大きくオーバーしたことは突っ込まないでほしい・・・。

能力の設定（前書き）

オリジナルの能力である、未玖の「動物指揮」アニマルタクトと流人の「空間掌握」ルームアウトの設定です。

能力の設定

「アニマルタクト動物指揮」

動物を従えることができる。

動物の声が聞こえ、level次第で動物の巨大化、最小化が出来る。

その動物が懐いているかどうかも関係し、巨大化などは自分のペットの方が成功率は高い。

未玖の場合、イメージ（自分だけの現実）をより鮮明にするため、巨大化させたりするときは掛け声のようなものを言う。

例「アニマルタクト動物指揮！dynamics、フォルティッシモ！」

未玖は歌が得意な為、この言葉は音楽用語で、意味は未玖が強弱と言う意味のdynamicsを強弱でなく、大小と捉え、フォルティッシモは強くと言う意味だが大きくと捉えている。なので大小＝大きさを変えると言う意味で言っていて大きく＝大きくするという意味で言っている。

「ルームアウト空間掌握」

空間の把握、空間を創ることが出来る。

空間の把握はどこに誰がいて、その空間の大きさはこうということが分かる。

空間を創るといふのは意味は違うが、ハルヒの作りだすようなもので、自分の創る空間の大きさの範囲に（自分を中心として）いるとその空間に入る。本人は入ることも入らないことも出来るが今の

流人のlevelでは不可能。創れる空間の大きさも制限がある。
空間を創るのを応用して足場を作ることが可能。

能力の設定（後書き）

分かりづらくてすみません

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7029z/>

angelprincess

2011年12月25日16時49分発行